

## 資料(1) 特別講演・基調講演・シンポジウム

### 《第26回学会大会》－1996年－(奈良女子大学)

#### □大会テーマ

『高齢社会におけるレジャー・レクリエーション研究と教育への期待』

#### □特別講演

『レジャー・レクリエーションの史的変遷』

小田切毅一(奈良女子大学)

#### □パネルディスカッション

『高齢社会におけるレジャー・レクリエーション研究と教育への期待』

##### 問題提起

石井 允(立教大学)

##### コーディネーター

下村 彰男(東京大学大学院)

##### パネリスト

- セラピューティックレクリエーションに寄せる期待  
大堀 孝雄(東海大学)
- 介護福祉とレジャー・レクリエーション  
鈴木 秀雄(関東学院大学)
- わが国におけるレジャー・レクリエーション専門家育成の課題  
吉田 圭一(武庫川女子大学)

### 《第27回学会大会》－1997年－(東京農業大学)

#### □大会テーマ

『レジャー・レクリエーション指導者育成と高等教育機関の役割』

#### □基調講演

『レジャー・レクリエーション(L/R)指導者への期待』

鈴木 祐一(東京女子体育大学学長)

#### □パネルディスカッション

##### コーディネーター

松田 義幸(実践女子大学)

##### パネリスト

- 大学教育の場をL/R指導者育成の機会に  
嵯峨 寿(筑波大学)
- L/R指導者育成カリキュラムの試案  
西野 仁(東海大学大学)
- L/R指導者の社会貢献イメージ  
鈴木 秀雄(関東学院大学)

### 《第28回学会大会》－1998年－(福岡大学)

#### □大会テーマ

『国際交流時代のレジャー・レクリエーション』

#### □基調講演

『世界のレジャー・レクリエーションの動向』

高橋 和敏(剰余暇問題研究所)

『国際交流で私たちが経験し、学んだこと』

佐藤 靖典(福岡市スポーツ振興課長)

#### □シンポジウム

『国際交流時代のレジャー・レクリエーション』

##### コーディネーター

大谷 善博(福岡大学)

##### パネリスト

- 市民支援型国際交流のあり方  
三本松正敏(福岡教育大学)
- ユニバーシアード等で学んだ国際交流プロジェクトの効果と課題  
佐藤 靖典(福岡市スポーツ振興課長)
- レジャー・レクリエーションから見た国際交流におけるボランティア活動  
川西 正志(鹿屋体育大学)

### 《第29回学会大会》－1999年－(淑徳大学)

#### □大会テーマ

『メディアとスポーツ“今までとこれから”』

#### □講演

1. 選手の側からみたスポーツ映像の意味

沢松奈生子(日本テニス協会)

2. 見せるためのスポーツ映像の変遷

西田 善夫(NHK解説員)

### 《第30回学会大会》－2000年－(明治大学)

#### □大会テーマ

『新しい時代とあそびの再考』

#### □基調講演

『日本人とレジャー』

井上ひさし(作家)

#### □シンポジウム

『新しい時代とあそびの再考』

##### コーディネーター

嵯峨 寿(筑波大学)

## 〔Ⅱ〕資料

### パネリスト

1. 「あそび」と文化を考える～ヨハン・ホイジンガー  
をてがかりとして～

杉浦 恭 (愛知教育大学)

2. わが国における余暇ライフスタイル 30 年の変遷と今  
後の展望

米村 恵子 (江戸川大学)

3. 「あそび」の広がり「あそび」空間整備の方向

麻生 恵 (東京農業大学)

### 《第 31 回学会大会》－ 2001 年－ (千葉大学)

#### □大会テーマ

『レジャー・レクリエーションから見た自然環境』

#### □基調講演

『レジャー・レクリエーションと自然環境』

進士五十八 (東京農業大学学長)

#### □シンポジウム

『レジャー・レクリエーションから見た自然環境』

##### コーディネーター

油井 正昭 (千葉大学)

##### パネリスト

下村 彰男 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

加治 隆 ((財) 休暇村協会)

親泊 素子 (江戸川大学)

田畑 貞寿 ((財) 日本自然保護協会)

### 《第 32 回学会大会》－ 2002 年－ (大分大学)

#### □基調講演

『障害者スポーツからのメッセージ～太陽の家 37 年の歩  
みを通して～』

吉永 栄治 (社会福祉法人太陽の家事務局長)

#### □シンポジウム

『障害者スポーツからのメッセージ』

##### コーディネーター

古城 建一 (大分大学)

##### パネリスト

1. 障害者スポーツからのメッセージ～施設から地域へ、  
太陽の家の挑戦～

堀川 裕二 (社会福祉法人太陽の家)

2. 障害児者と健常者の「スポーツ統合」の可能性

綿 祐二 (長崎国際大学)

3. 知的障害者と大学生との合同ダンス練習会について

麻生 和江 (大分大学)

#### □ワークショップ

1. セラピューティック・レクリエーション専門分科会  
「それぞれの専門領域からスポーツをどう捉えるか」

鈴木 秀雄 (関東学院大学)

中村 太郎 (医療法人恵愛会大分中村病院)

2. 景観・造園・環境

『地域のアウトドア・レクリエーションと資源空間の管理』

麻生 恵 (東京農業大学)

田中 伸彦 (独立行政法人森林総合研究所)

栗田 和弥 (東京農業大学)

上野 裕治 ((有) ハイランドパーク)

3. レジャー・レクリエーション産業

『世界的蹴球回想～ビジネスとライフスタイルに新しい  
胎動を探る～』

嵯峨 寿 (筑波大学)

石川 宣治 (日本オリンピック委員会)

犬塚潤一郎 (リベラルアーツ研究所)

梅澤 佳子 (湘南国際女子短期大学)

加藤 優 (埼玉県立大学)

### 《第 33 回学会大会》－ 2003 年－ (東北福祉大学)

#### □大会テーマ

『世代間交流と地域文化』

#### □基調講演

『レジャー・レクリエーションと地域文化』

大村 虔一 (宮城大学副学長)

#### □シンポジウム

『世代間交流にみる諸活動』

##### コーディネーター

仲野 隆志 (仙台大学)

##### パネリスト

1. 行政の立場から

鳴海 渉 (仙台市泉区副区長)

2. 仙台・青葉まつり (すずめ踊り) における地域文化  
と世代間交流の立場から

平賀 ノブ (BRIDAL PLANNER STAGE 代表取締役、  
青葉踊り部会長)

3. 英国のレジャー・レクリエーション政策研究の立場  
から

寺島 善一 (明治大学)

#### □ワークショップ

1. セラピューティック・レクリエーション専門分科会  
「新しい概念領域としてのセラピューティックレクリエ  
ーションに既存の内容や活動はどう位置づけられるのか」

鈴木 秀雄 (関東学院大学)

石井 允 (立教大学)

片桐 義晴((社福)新宿区障害者福祉協会)

## 2. 景観・造園・環境

「地域のアウトドア・レクリエーションと資源空間の管理」

麻生 恵 (東京農業大学)

荒井 歩 (東京農業大学)

栗田 和弥 (東京農業大学)

## 3. レジャー・レクリエーション産業

「東京ディスニーランドの成功から見えてくるもの・学べること」

嵯峨 寿 (筑波大学)

上澤 昇 (オリエンタルランド)

栗田 房穂 (宮城大学)

犬塚潤一郎 (実践女子大学)

坂田 信久 (国士舘大学)

## 《第34回学会大会》－2004年－(立教大学)

### □大会テーマ

『21世紀グローバル社会に向けた学会発展のビジョンと戦略を考える』

### □基調講演

『始動した21世紀において学会に求められる役割』

荻茂寿太郎 (東京農業大学副学長)

### □シンポジウム

『21世紀の学会発展のビジョンと戦略を考える』

#### コーディネーター

麻生 恵 (東京農業大学)

#### パネリスト

1. 日本レジャー・レクリエーション学会のこれまでの取り組みから

鈴木 秀雄 (関東学院大学)

2. 国際化の動きと国際化への対応から

西野 仁 (東海大学)

3. 産業界・行政等との連携から

山口 有次 (早稲田大学)

### □ワークショップ

1. セラピューティック・レクリエーション専門分科会「要介護予防運動指導におけるセラピューティックエクササイズの意味と意義」

鈴木 秀雄 (関東学院大学)

2. 「景観・造園・環境系」及び「レジャー・レクリエーション産業系」の合同開催

「レクリエーション資源空間と産業に関わる研究の今後の取り組みを考える」

栗田 和弥 (東京農業大学)

嵯峨 寿 (筑波大学)

## 3. 公募ワークショップ

「個別プログラムとケースワークの実践」

吉岡 尚美 (東海大学)

茅野 宏明 (武庫川女子大学)

## 《第35回学会大会》－2005年－(国際基督教大学)

### □大会テーマ

『ダウンサイジングな時代に即応するレジャー・レクリエーション』

### □基調講演

『レジャー・レクリエーション見聞記』

平野 次郎 (学習院女子大学特別専任教授、元NHK解説委員)

### □シンポジウム

『ダウンサイジングな時代に即応するレジャー・レクリエーション』

#### コーディネーター

西野 仁 (東海大学)

#### パネリスト

1. 子どもの体力や生活習慣病をめぐって

徳村 光昭 (慶応義塾大学保健管理センター)

2. 現在の日本の高齢者の健康や生活機能の実態について

鈴木 隆雄 (東京都老人総合研究所)

3. 環境教育をはじめとする様々な市民活動の場としての公園緑地

西川 嘉輝 (国土交通省公園緑地課緑地環境推進室)

### □研究分科会

1. セラピューティック・レクリエーション専門分科会「日本におけるレジャー・レクリエーションの一般的概念からセラピューティック・レクリエーションの啓発を俯瞰する」

鈴木 秀雄 (関東学院大学)

大堀 孝雄 (東海大学)

常藤 恒良 (東京YMCA)

石井 允 (立教大学)

飯沼 和三 (海老名厚生病院)

2. 景観・造園・環境「自然体験型レクリエーション空間の利用計画と運営」

麻生 恵 (東京農業大学)

松本 清 (フリー環境コンサルタント)

栗田 和弥 (東京農業大学)

《第36回学会大会》－2006年－(平安女子大学)

□大会テーマ

『共に育つために求められているレジャー・レクリエーション』

□基調講演

『現代社会におけるレクリエーションの意義と課題～保険福祉学の立場から～』

岡本 民夫 (同志社大学社会学部)

□シンポジウム

『共に育つために求められているレジャー・レクリエーション』

コーディネーター

高橋 伸 (国際基督教大学)

パネリスト

1. こどもの遊びの現状  
酒井 妙子 (手づくりほいく研究会)
2. 地域福祉の推進に福祉現場としてどのように取り組むか  
村田 明子 (兵庫県社会福祉協議会)
3. さらに増加する余暇 (自由時間)  
吉田 圭一 (武庫川女子大学)

《第37回学会大会》－2007年－(東洋大学)

□大会テーマ

『レジャー・レクリエーションの充実に寄与するオリンピック・レガシー』

□オーガナイズドセッション

『レジャー・レクリエーションの充実に寄与するオリンピック・レガシー』

コーディネーター

麻生 恵 (東京農業大学)

パネリスト

1. オリンピックの招致とレガシー  
嵯峨 寿 (筑波大学)
2. 空間論・環境論の立場から  
栗田 和弥 (東京農業大学)
3. レジャー論とツーリズム論の立場から～マッチングシステム構築の提案～  
土屋 薫 (江戸川大学)
4. レクリエーション・ムーブメントの立場から  
山崎 律子 (株余暇問題研究所)
5. スポーツ・フォー・オールの立場から  
師岡 文男 (上智大学)

《第38回学会大会》－2008年－(新潟医療福祉大学)

□大会テーマ

『地域興しとレクリエーション』

□基調講演

『地域興しとレクリエーション～その有効性をめぐって～』

森川 貞夫 (日本体育大学)

□シンポジウム

『“地域興しの手法としてのレクリエーション”再検討～新潟市における諸事例から～』

コーディネーター

小田切毅一 (新潟医療福祉大学)

パネリスト

1. アルビレックス新潟における地域興しの実践から  
田村 貢 (アルビレックス新潟)
2. 生涯スポーツの拠点、総合型地域スポーツクラブにおける新潟の地域興しを問う  
西原 康行 (新潟医療福祉大学)
3. ハンディキャップ・レク. 障害者主体の文化による地域興しの試み  
池 良弘 (日本福祉医療専門学校)
4. 市民ボランティアがつくりだす新潟のあたらしい都市づくり

上山 寛 (上山寛アトリエ、建築家)

□ワークショップ

1. 中越地震災害復旧のレクリエーション支援体制づくり～こころのケアを中心に～  
鈴木 允 (新潟県レクリエーション協会)
2. 地域と学生を繋ぐ教育活動の実践～教育の特色を生かしたレクリエーション・サービス～

坂内 寿子 (新潟中央短期大学)

《第39回学会大会》－2009年－(江戸川大学)

□大会総合テーマ

『生態系資源と文化的資源をつなぐライフデザイン～架け橋としてのレジャー・レクリエーション～』

□シンポジウム

総合コーディネーター

土屋 薫 (江戸川大学)

□セッションA

1. 船を通じた川とのつきあいかた  
庄司 邦昭 (東京海洋大学)
2. 大堀川におけるカヌー体験 ゼミナールの実践  
郡司 俊雄 (江戸川大学)

## 3. スポーツイベントの開催と安全性に関する課題

- 湘南の里海遊び -

遠藤 大哉(NPO法人バディ冒険団代表)

## 4. 市野谷の森公園を核とする水と緑のまちづくり

恵良 好敏(NPOさとやま)

## 1. 『貢献賞』受賞者によるショートスピーチ

## 2. 『学会の歩み～その2』紹介

麻生 恵(東京農業大学・学会理事長)

## 3. 今後の活動展開に向けて

鈴木 秀雄(関東学院大学・学会会長)

## □セッションB

## 1. 世界の水辺空間&amp;都市開発から考える

樋口正一郎(美術家・都市景観研究家)

## 2. 地域をつなぐ歴史の架け橋～利根運河の持つ力～

新保 國弘(東葛自然と文化研究所)

## □総括セッション

## 1. ひとがリピーターを育み、リピーターがひとを育てる～着地型観光に学ぶ地域の誇り～

庄司 邦昭(東京海洋大学)

後藤 新弥(江戸川大学)

樋口正一郎(美術家・都市景観研究家)

恵 小百合(江戸川大学・江戸川大学総合福祉専門学校)

小高 静子(流山ガーデニングクラブ「花恋人-かれんと-」)

井崎 義治(流山市長)

梅谷 秀治(コーディネーター)

行政コミュニケーションアドバイザー)

## 《第40回学会大会》- 2010年 - (東京農業大学)

## □大会テーマ

『地域連携とレジャー・レクリエーション』

## □基調講演

『地域連携とレジャー・レクリエーション』

宮林 茂幸(東京農業大学)

## □シンポジウム

## コーディネーター

麻生 恵(東京農業大学)

## パネリスト

## 1. 行政との協働による市民主体のみどりのまちづくりへ向けた取り組み

小出 仁志((財)世田谷トラストまちづくり)

## 2. 多摩川源流大学の取り組みによる源流域の地域活性化

矢野加奈子(東京農業大学源流大学(GP)事務室)

## 3. 複数分野の連携で育む、新たなレジャー・レクリエーション資源とその担い手

木俣 知大(国土緑化推進機構、山村再生支援センター)

## 4. 高齢者の介護予防のための地域住民による巡回型レクリエーション指導～島根県雲南市を例として～

鎌田 真光(雲南市立身体教育医学研究所うなん研究員)

## □特別セッション(第40回大会記念)

テーマ:『学会の歩み～今までとこれから～』

司会進行:上岡 洋晴(東京農業大学・学会常任理事)